

エグゼクティブブリーフィング： セキュアモバイルアクセスが 戦略的ビジネスに不可欠な 理由

革新的でダイナミックな世界において、生産性維持を実現する
モバイルアクセス

要旨

世界的に、モバイルワークの導入が進んでいます。今日の戦略的ビジネスにおいて、俊敏性、継続性、生産性といったメリットをもたらすセキュアモバイルアクセスは必要不可欠です。しかしながら、モバイルワークを効果的にサポートするためには、エンドポイントの爆発的な増加、よりスマートな脅威、内部およびSaaSリソースへのアクセスなど、さまざまな課題に対応しなければなりません。

はじめに

動的な技術ソリューションを必要とする脅威的な課題に関するニュースが、毎日のように報じられています。公衆衛生上の緊急事態、地震や津波、ハリケーン、猛吹雪などの自然災害、政治的危機によって、重要な役割を担うスタッフの移動や物理的施設にあるリソースへのアクセスが制限される場合があります。継続的な収益を確保するためには、いつでもどこからでも業務を行えるよう、俊敏性を備える必要があります。

また、多くの企業が時間や場所を問わず業務を行える体制を整えることで、スタッフの生産性や定着率を高め、物理的な事務所を維持するために必要な間接費を最小限に抑えようとしています。

以下は、80か国のさまざまな業界の15,000人を超える専門家を対象とした2019年のIWGグローバル調査の結果です。

- 柔軟性を高めたことで生産性が向上した (85%)
- 柔軟な勤務形態により、資本的支出／事業運営費の削減とリスク管理が可能となった (65%)
- 柔軟な勤務形態が新たな常識 (ニューノーマル) となっている (75%)
- 現在、世界の企業の62%が柔軟な勤務形態に関する方針を定めている
- 世界の従業員の半数以上が週2.5日以上リモートワークを行っている

- 労働者の80%以上が柔軟性のない仕事よりも柔軟な仕事を選択したいと考える
- 米国では、柔軟な勤務形態により4.5兆ドルの経済効果が見込まれる

結果として、従来のネットワーク境界の外側にある承認されたデバイスおよびBYODデバイスからリソースにアクセスできるモバイルアクセスを利用する企業が増えています。

効果的なサイバーセキュリティには、セキュアモバイルアクセスを含めることが必須

「いつでも・どこでも」が求められる高分散型の今日の世界でモバイルアクセスを提供することは、潜在的に安全性の低い無数のモバイルエンドポイントデバイスを介して脅威への暴露ポイントを急増させる可能性があります。

誤りをおかしやすい人間の傾向と危険なオンライン行動を考慮すれば、従業員が自分自身でモ

バイルデバイスのセキュリティを確保できると信頼することはできません。

さらに、標的型ランサムウェア、「新手」の脅威、メモリベースのマルウェア、サイドチャネル攻撃、暗号化された脅威など、多種多様な脅威が拡大、深刻化および高度化しています。

最終的に、モバイルネットワークのセキュリティは、有線ネットワークのセキュリティと同じレベルでなければなりません。これには、企業リソースと接続しようとするモバイルデバイスに対する、そのリソースがオンプレミスであれクラウドであれ、ゼロトラストな姿勢が求められます。セキュアモバイルアクセスは、いつでも、どこからでも可能なアクセスへのゼロトラストアプローチの中核をなすものです。

IT部門は、限られた予算と熟練したスタッフというリソースを用いてこれらのモバイルエンドポイントからセキュアにアクセスする必要もあります。これは、導入、可用性、およびサポートを

合理化し、総所有コストを削減することを意味します。サイバーセキュリティが効果的であるためには、モバイルワークを行う従業員に、機敏で使いやすく、費用対効果の高いスケーラブルな方法で、主要ビジネスリソースへの容易かつ安全なアクセスを、毎日24時間提供する必要があります。

まとめ

事業の継続性を確保するためにも、従業員の定着率や生産性を高めるためにも、セキュアモバイルアクセスは必要不可欠です。SonicWallセキュアモバイルアクセス(SMA)ソリューションは、高分散型企業内で、いつでもどこでもアクセスすることを可能にします。これにより俊敏性が実現し、不測の事態が起こっても、事業を継続することができます。

詳細は、www.sonicwall.com/products/remote-accessをご覧ください。

© 2020 SonicWall Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

SonicWallは、SonicWall Inc.および／またはその関連会社の米国および／またはその他の国における登録商標です。その他すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。

本文書の情報は、SonicWall Inc.および／または提携会社の製品に関して提供されたものです。本文書またはSonicWall製品の販売に関しては、明示または黙示を問わず、禁反言あるいはその他の方法で知的財産権を許諾するものではありません。本製品について、使用許諾契約で指定された条件に記載されている場合を除き、SonicWallおよび／またはその提携会社は製品（商品性や特定目的に対する適合性、非侵害の黙示保証を含

むがそれに限定されない）に関して、明示的、黙示的、もしくは法定上の責任を一切負わないものとします。SonicWallおよび／またはその提携会社は、本文書の使用または不使用に起因して発生した、いかなる直接的、間接的、派生的、懲罰的、特殊、または偶発的な損害（利益の損失、営業停止、情報消失を含む）について一切責任を負いません。また、SonicWallおよび／またはその提携会社がかかる損害の可能性を助言していた場合でも同様とします。SonicWallおよび／またはその提携会社は、本文書の内容の正確性や完全性に関していかなる主張や保証も行わず、また予告なしにいつでも仕様、製品の説明を変更する権利を有します。SonicWall Inc. および／またはその提携会社は、本文書に含まれる情報の更新について一切責任を負いません。

SonicWallについて

SonicWallは27年以上にわたってサイバー犯罪と戦い、世界中の中小企業や各種事業組織、政府機関を守り続けています。受賞歴のある当社のリアルタイム侵害検出・防止ソリューションは、SonicWall Capture Labsの研究によってその効果が裏付けられています。このソリューション群は、実に215以上の国と地域で、100万以上のネットワークとその中の電子メールやアプリケーション、データを保護しています。これによって多くの組織がより効果的に稼働し、セキュリティ上の懸念を軽減しています。詳しくは、www.sonicwall.com をご覧いただくか、[Twitter](#)、[LinkedIn](#)、[Facebook](#)、[Instagram](#) で当社をフォローしてください。

本資料に関するご質問は、以下までお問い合わせください。

SonicWall Inc.
1033 McCarthy Boulevard
Milpitas, CA 95035 USA

その他の情報については、当社のウェブサイトをご覧ください。

www.sonicwall.com